



青森県感染症発生情報 (2017年第48週)

I 第48週の発生動向 (2017/11/27~2017/12/3)

1. 手足口病については、**上十三保健所管内**で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっていますので注意が必要です。
2. **インフルエンザ**については、県全体の定点当たり報告数が1.15となりました。流行開始の目安としている1.00を上回ったことから、**流行シーズンに入ったと考えられます**。東地方+青森市保健所管内で最も多く、弘前保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、五所川原保健所管内、上十三保健所管内では前週より増加しています。
3. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に弘前保健所管内と五所川原保健所管内で、定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態ですので注意が必要です。
4. **流行性耳下腺炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が2.80に増加し、注意報レベルの基準値(3)に近づいていますので注意が必要です。

II 第48週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	35	2.69	22	1.47	8	0.53	5	0.71	5	0.56			75	1.15	29	
小児科	RSウイルス感染症	6	0.75	4	0.44	3	0.30							13	0.31	-22	
	咽頭結膜熱	1	0.13	2	0.22	7	0.70	7	1.40	1	0.17	5	1.25	23	0.55	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.13	30	3.33	23	2.30	21	4.20	2	0.33	5	1.25	90	2.14	37	
	感染性胃腸炎	27	3.38	14	1.56	48	4.80	14	2.80	3	0.50	4	1.00	110	2.62	-2	
	水痘	2	0.25	8	0.89	2	0.20	3	0.60	1	0.17	2	0.50	18	0.43	3	
	手足口病	2	0.25	10	1.11	15	1.50	5	1.00	30	5.00			62	1.48	-34	
	伝染性紅斑			1	0.11	2	0.20							3	0.07	1	
	突発性発しん	2	0.25	2	0.22	7	0.70			4	0.67			15	0.36	1	
	百日咳																-1
	ヘルパンギーナ	7	0.88											7	0.17	-11	
流行性耳下腺炎					28	2.80	1	0.20	12	2.00			41	0.98	22		
眼科	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.09	-8	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00					7	7.00	8	1.33	1	
	無菌性髄膜炎															0	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握対象疾患) 第3回

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) という細菌による呼吸器感染症です。患者の咳のしぶきを吸い込んだり、患者と身近で接触したりすることにより感染と言われています。家庭のほか、保育施設、幼稚園、学校など施設内でも感染伝播がみられます。

潜伏期間はおよそ2~3週間と長く、初発症状は、発熱、全身倦怠感、頭痛などです。本症の特徴である咳は、初発症状の3~5日後から始まることが多く、解熱後も長期(3~4週間)にわたって持続します。マイコプラズマに感染しても軽症ですむ人が多いですが、一部の人は重症化し、入院をして専門的な治療が必要となることもありますので注意が必要です。長引く咳などの症状があるときは、医療機関を受診しましょう。

青森県では、2017年は過去5年間の平均(青森県)と比較して定点当たり報告数が少ない傾向ですが、過去5年間の平均(全国)と比較すると依然定点当たり報告数が多い状態で推移していますので、今後の発生動向に注意が必要です(図)。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [マイコプラズマ肺炎とは \(国立感染症研究所\)](http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/503-mycoplasma-pneumoniae.html)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/503-mycoplasma-pneumoniae.html>

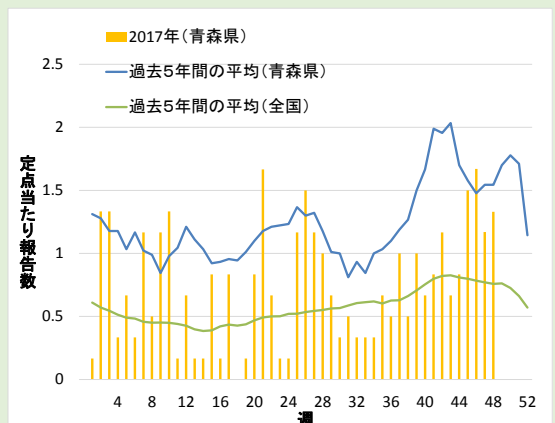


図: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数の推移(2017年第1週~2017年第48週)

*過去5年間の平均: 前週、当該週、後週の合計15週の平均

Ⅲ 全数把握対象疾患

・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前1人、三戸地方1人、五所川原1人（2017年計：267人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（）内は、検査材料及び検体採取日です。

無菌性髄膜炎患者（髄液、11/6）・・・エコーウイルス3型：弘前1人

上気道炎患者（咽頭ぬぐい液、11/21）・・・コクサッキーウイルスA4型：弘前1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2017年第41週～2017年第48週）

・第48週の患者報告数は75人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは72人【A型：62人、B型：10人】でした。

保健所管内別報告数（人）

週	41	42	43	44	45	46	47	48
保健所名								
東地方+青森市		15	10	6	3	11	20	35
弘前				1	6	23	19	22
三戸地方+八戸市		1		2	3	5	4	8
五所川原							1	5
上十三				1	3		2	5
むつ								
合計	0	16	10	10	15	39	46	75

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	41	42	43	44	45	46	47	48
保健所名								
東地方+青森市		15	10	6	3	6	19	32
弘前				1	6	23	19	18
三戸地方+八戸市		1			2	3	1	4
五所川原							1	4
上十三					3		1	4
むつ								
合計	0	16	10	7	14	32	41	62

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	41	42	43	44	45	46	47	48
保健所名								
東地方+青森市								
弘前								4
三戸地方+八戸市				2	1	2	3	4
五所川原								1
上十三				1			1	1
むつ								
合計	0	0	0	3	1	2	4	10

年齢区分別(人)

週	41	42	43	44	45	46	47	48
～5ヶ月								
～11ヶ月		1			1	2		
1歳		1	2			4	4	5
2歳		1				1	1	7
3歳		3				2	4	8
4歳		1				2	5	4
5歳		1			2	3	7	8
6歳		1		1		2	6	5
7歳		1		1	1	4	5	5
8歳			1	2	2	6		3
9歳		1	2	1	1	1		5
10～14歳		1	2	3	3	3	2	7
15～19歳			1			1	1	2
20～29歳				1		1		2
30～39歳		3			1	1	3	4
40～49歳			1			1	5	4
50～59歳				1	3	1		3
60～69歳		1			1	2	1	
70～79歳			1			1	2	
80歳以上						1		3

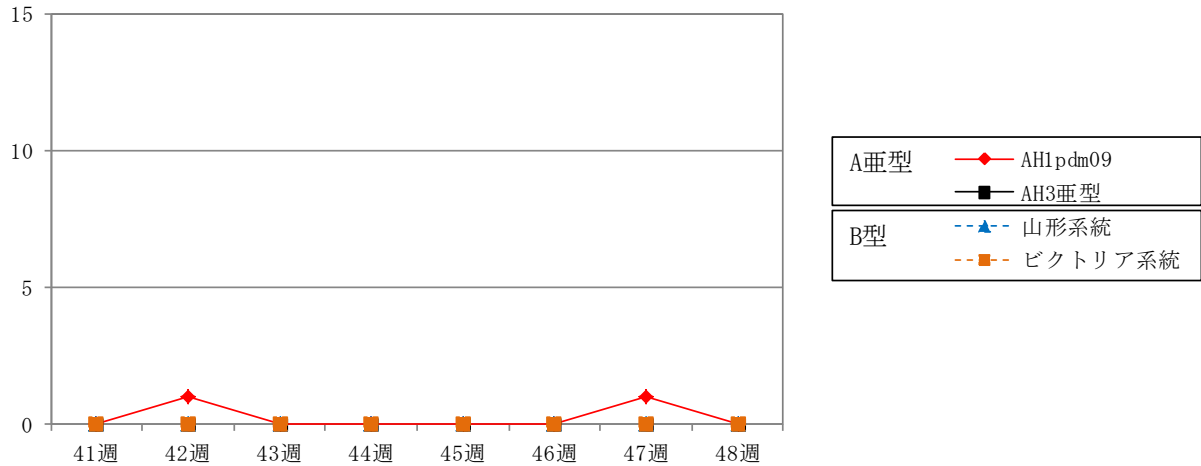
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2017							直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計	
		41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週			48週
提出検体数		0	1	0	0	0	0	4	0	4	5
検出 状況	A型	AH1pdm09									
		AH3型									
	B型	山形系統									
		ビクトリア系統									
合計		0	1	0	0	0	0	1	0	1	2

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2017年第45週～2017年第48週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
45	H29.11.6 ~ H29.11.12		水痘(入院例)1人	レジオネラ症1人 破傷風1人			
46	H29.11.13 ~ H29.11.19	つつが虫病2人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人		E型肝炎1人 レジオネラ症1人		水痘(入院例)1人	
47	H29.11.20 ~ H29.11.26	侵袭性インフルエ ンザ菌感染症1人					
48	H29.11.27 ~ H29.12.3						

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2017年第45週～2017年第48週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
45	H29.11.6 ~ H29.11.12	1					2
46	H29.11.13 ~ H29.11.19	1	1	1			
47	H29.11.20 ~ H29.11.26	2		3			
48	H29.11.27 ~ H29.12.3		1	1	1		

Ⅸ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週～2017年第47週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	20471	7	132	3780	37	13	286	250	24	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	8	1	4	89	2	4	227	234	325	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	2	3	57	19	1	1614	44	963	264	1494

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	605	12	177	493	1242	52	326	23	2791	277

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	5158	118	116	70	83	189	23

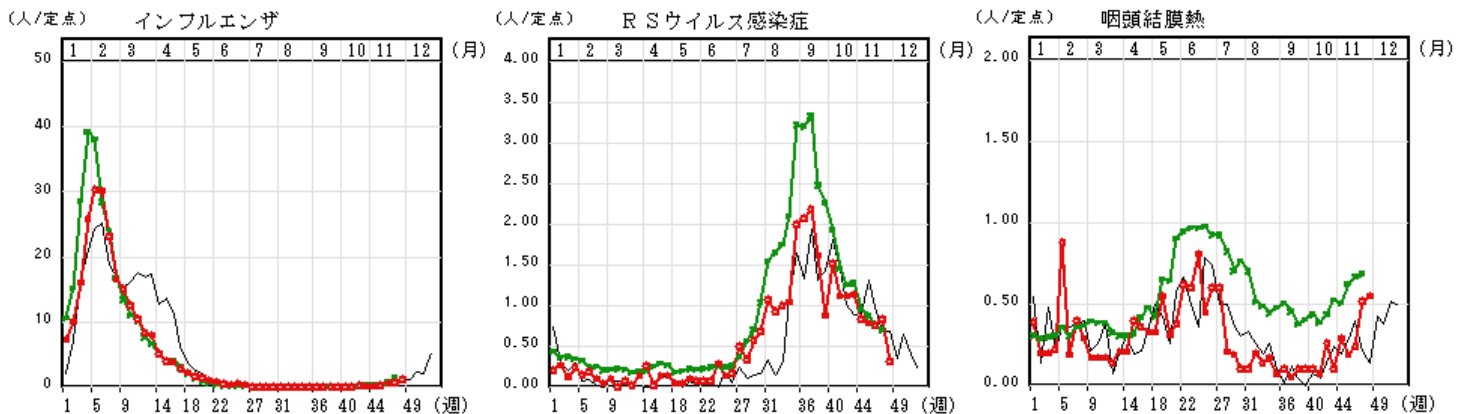
青森県（2017年第1週～2017年第48週までの累計）

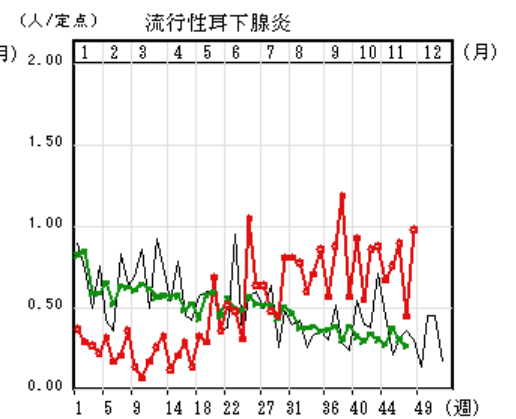
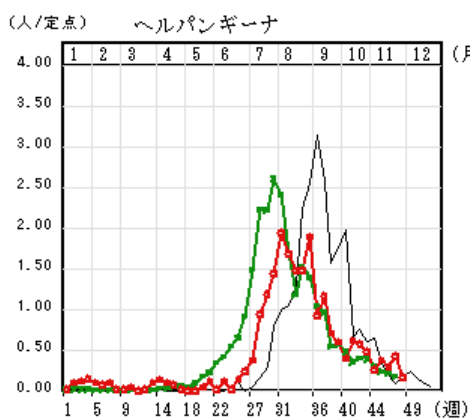
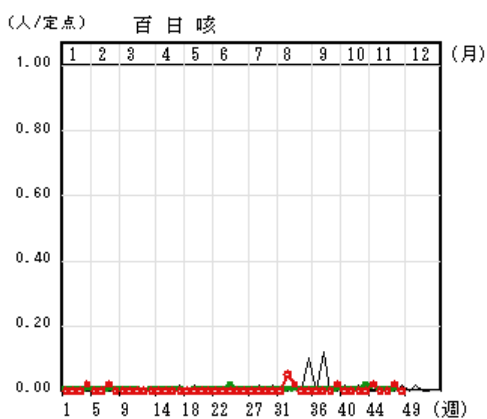
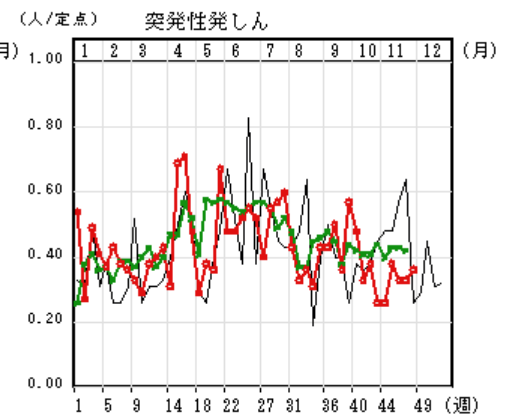
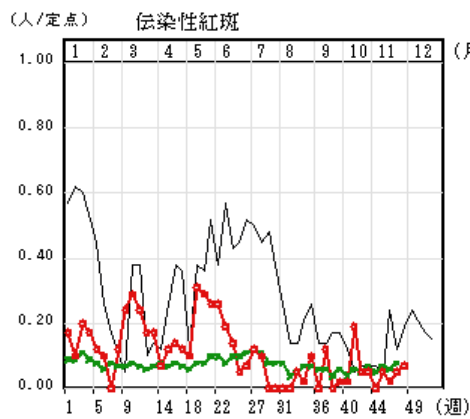
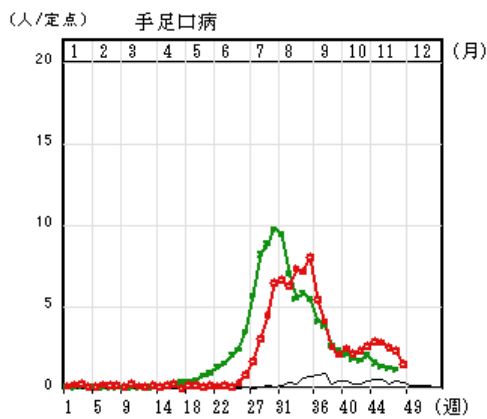
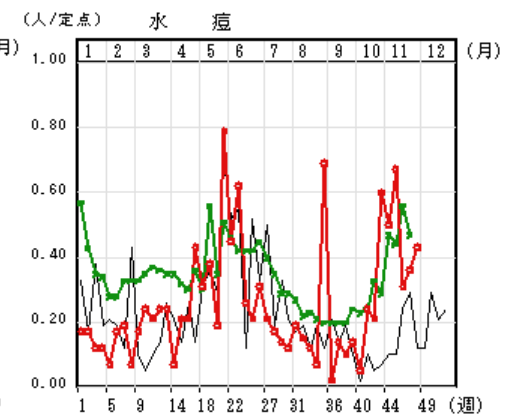
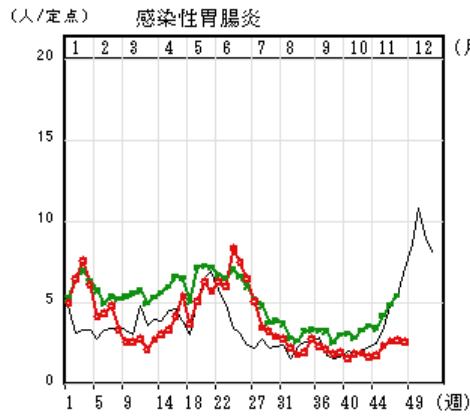
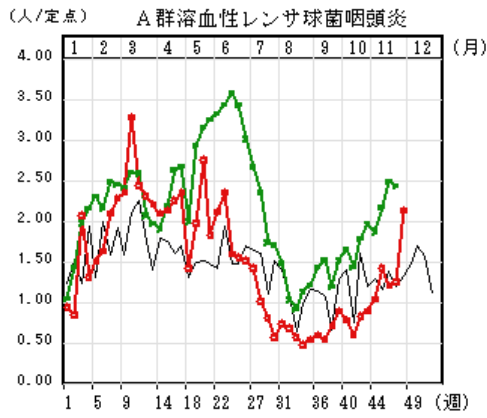
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	267	31	8	2	15	1	10	5	17	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	5	2	10	3	58	2

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第48週、ただし全国は前週）

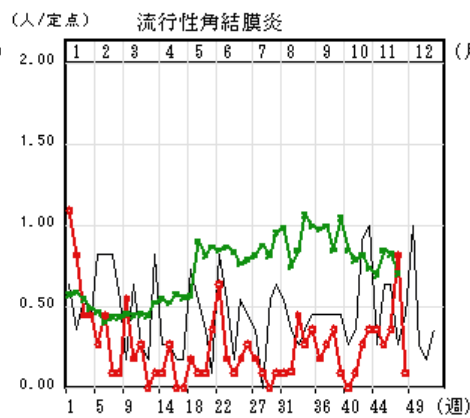
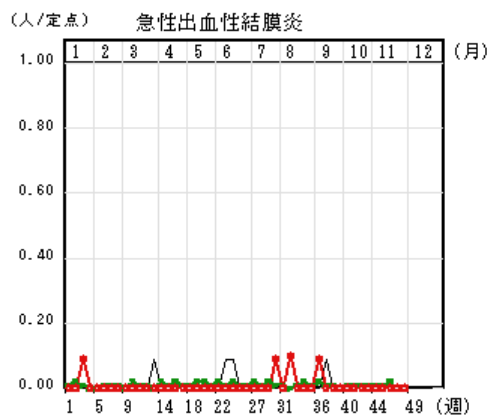
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×——×は2017年全国





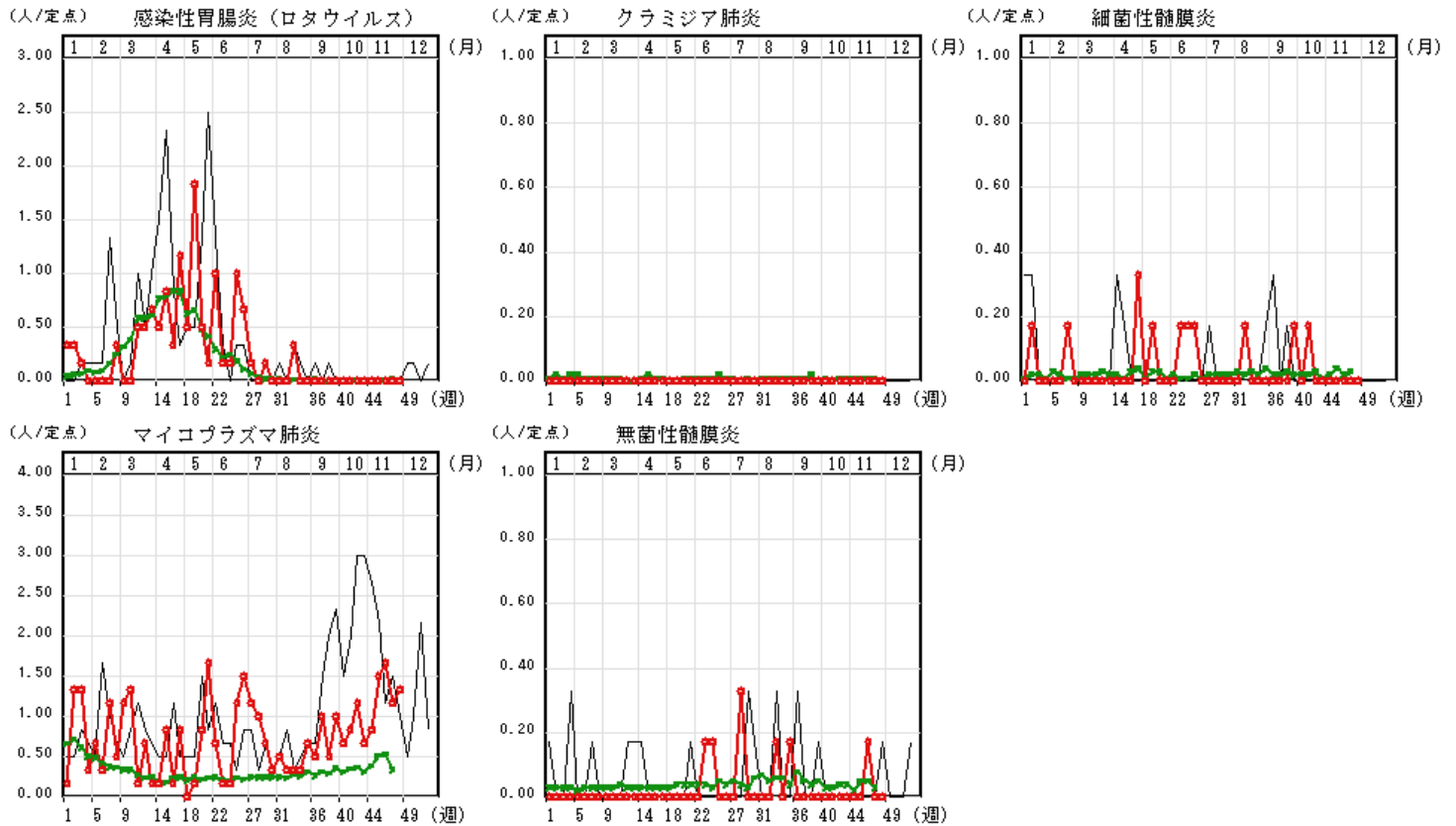
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第48週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第48週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第48週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第48週	児童・婦人関係施設等	20	弘前保健所

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39-43週	44-47週	48週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	8
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	15	0	0	20	154
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	11
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	15	0	0	20	247